

なんだ・かんだ

◆ ビックデータ ◆

最近新聞やテレビで、「ビックデータ」という言葉をよく見聞きするようになりました。そこで今回は、この単語に着目してみました。

世界で1日に生み出されるデータの量は、一人当たり1ギガ(10億)バイトにおよぶといえます。新聞で言うなら、朝刊1000日分にも相当するそうです。

データは、我々が毎日パソコンやスマートフォンを使い生み出すモノだけでなく、モバイル機器に搭載されたセンサーで記録されるデータ、ソフトウェアのログ(使用記録)、カメラの画像、マイクロフォンの音声、RFID(ICタグ)で読み取られる情報、無線センサーネットワークで取り込まれるあらゆる情報などが、デジタルデータとして収集されるようになったこともデータが増加する一因となっているといえます。

この膨大なデジタル情報は、「21世紀の新資源」。「ビックデータ」を使いこなす企業が、競争に勝ち抜く企業となると言われています。

大容量データの高速度処理という、理化学研究所と富士通が共同開発した、スーパーコンピューター「京」などで、気象学、ゲノミクス(遺伝子研究)、コネクトミクス(神経回路の研究)、複雑な物理シミュレーション、環境生物学、インターネット検索、経済学、経営情報学などの分野で分析が行われています。

そして情報通信特にインターネットの発達にともなって爆発的に増大した構造化されていない莫大な量のデータ。それら様々な局面に発生した巨大データの集まりを分析することでビジネス傾向の特定、病気の予防、犯罪の対策などにメリットがあると言われています。

マツダの本社工場では、自動ラインでエンジンの部品を加工(金属に穴を開けたり、削ったりする)をしていますが、エンジン1基について1万項目に上る生産情報を管理するために、部品毎に小さな二次元バーコードを付与し、部品が一つ工程を抜けるたびにデータを集めています。いつ、どここの設備で作ったかという単純な記録だけではなく、穴を開ける工程であれば、「どの工作機械の、どの刃物で、何秒削ったか」など細かく記録します。たまったデータを分析し、最適な加工条件を割り出すという訳です。個々の部品は品質基準を満たしますが、1千分の1ミリという単位でみると、刃物の新旧などで加工精度にはばらつきがでます。それが組あがったエンジンに微妙な性能差を生む可能性もあるので、「どんな加工条件で製造すれば完璧なエンジンになるのか」膨大なデータから最適加工条件の解明へと、究極の品質管理に挑戦しているのです。

また、ソフトバンクでは、基地局の込み具合、スマートフォンの位置や接続率など6億件のデータを解析し、つながりやすい基地局の設置プランを導き出しています。

製造・物流・医薬・経営・人事・等々、あらゆる課題にかつてない広さと深さで判断材料を提供するのがビックデータの本来の力です。今は、別世界の話ですが、この業界の進歩は早いです。我々も「ビックデータ」を利用する日も近いかもしれません。

データへの感度が低い企業は脱落しかねない時代になるわけです。



■ クールビズで失礼します ■

今年ももうすぐ梅雨に入ります。気象庁は、この夏の予報を発表しました。北日本から西日本にかけての広い範囲で平年に比べ晴れの日が多く、気温は平年並または高いということです。

電気料金の値上げも今年度から実施が決まり、今年は、3.11以降国からも指導のあった、電力会社管内の電気使用量の削減と共に、自社の経費を考えた、節電を実施しなければなりません。

ということで当社でも、6月1日から9月末日までの4ヶ月間、例年同様のクールビズとさせていただきます。ただ今年に付きましては、状況に応じて1ヶ月期間延長も考えています。

今年も、ノーネクタイ・ノージャケットご理解願います。

消費拡大に期待

5月も半ばを過ぎて、沖繩は梅雨入りし、本州ではよく晴れた暑い日が続ききました。東海地方の梅雨入りの平均は6月8日ですが、早ければ今週中にも梅雨入るかもしれません。今年は少し早目になりそうです。

そんな中、アベノミクス第1の矢「日銀の異次元緩和」による円安・株高により、上場企業の3月決算は軒並み好転しました。当社では有価証券は余り所有していませんが、それでも取引上所有している株は軒並み上昇。どれも長いこと所有しているだけで増すだけ状態の株ですが、昨年の同時期から3割ほどの高い値が付いていて、儲かったような気がしています。(高くなくても売れない。安くなったなら資産が目減りするパラボリック状態です。)しかし、この株高も行き過ぎていたのでしょうか、先週大きく値を崩し、調整局面へと移行しているようです。このまま、じりじりと落ちていかなければ良いのですが、本業以外で変に気をもみたくないものです。

一方、持てる人の消費が拡大しています。株高のおかげか、超高級外車のフェラーリやランボルギーニの販売が、前年比で3〜50%も増えています。株価と長期金利が安定し、次の矢が放たれば、この流れは必ず我々まで下がってくるかと確信しています。

代表取締役 服部 徹一郎

新入社員紹介

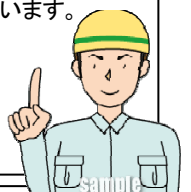
● 松田 和己 ●

今年度4月16日より建設部に配属となりました。松田和己(まつだかずき)と申します。

1980年生まれ、現在32歳です。出身は西伊豆町の田子で、中学を卒業した後、実家を出て下宿しながら修善寺工業高校建築科を卒業しました。その後、静岡にある静岡産業技術専門学校を卒業しました。卒業後すぐに設計事務所に入社して、躯体及び鉄骨の積算を経験し、その後建築現場での墨出し作業などに従事しました。そしてこの度、縁あって当社にお世話になることになりました。

入社してから現在まで約1ヶ月経ちますが、先輩方に各現場を同行させて頂いております。これまで建築に携わる仕事をしていましたが、お客様と先輩方の打ち合わせで、たまに専門的な内容で理解出来ない事もあり、打ち合わせが終わった後にその都度先輩方にご指導して頂いております。先輩方の優しさに触れ、ありがたいと思いますが、甘えることなく日々努力しスキルアップしていきたいと思っています。

お客様にはご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、精一杯頑張らせて頂きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/